

5-1 西向天神社エリア

エリアの西側には大きな窪地があり、そこから東側へ向かって斜面地、台地となっています。斜面地から台地にかけては、西向天神社が位置しており、歴史を感じさせるみどりが広がっています。また、台地上には、閑静な住宅地が広がっています。また、小規模な店舗の建ち並ぶまねき通り商店会、緩やかな坂道となっており、超高層ビル群を眺めることができます。東京医大通り商店会があります。

景観特性



1.おもむきある西向天神社



古くから大久保の東地域の守り神として信仰を集めてきた神社です。江戸時代には、さくらの名所としても知られていました。現在も、神社の歴史あるおもむきと斜面地に位置する豊かなみどりは、まちなみ風格を与えています。

2.台地上からの眺め



医大通り商店会の坂上からは、超高層ビル群を眺めることができます。また、エリアの北側の台地上からは、窪地の住宅地や明治通り沿いの高層建築物などが折り重なる様子を一望できます。

3.日常生活を支える商店街



エリアの東端を通るまねき通り商店会は、道幅が150年よりも変わらず昔ながらの小規模な店舗が連なる商店街となっています。また、東京医大通り商店会は、起伏のある地形に店舗が連なっているのが特徴となっています。



景観形成の目標

寺社の雰囲気と調和した落ち着きと商店街の賑わいのまちなみへ

台地上からの眺めや寺社などの歴史的資源をいかして、落ち着いた住環境を保全していく。

景観形成の方針

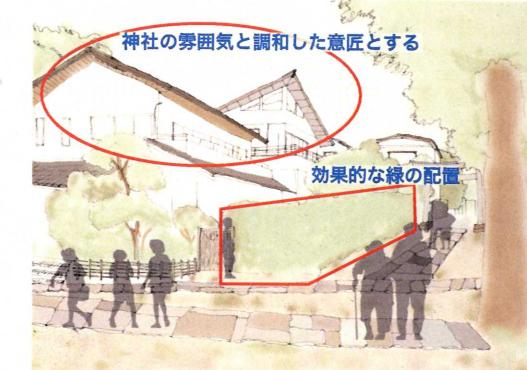
1.寺社の雰囲気と調和した台地上の落ち着いた住宅地の景観をつくる

景観形成の考え方

景観資源である西向天神社や法善寺などの雰囲気と調和した落ち着きある住宅地の景観をつくる。

具体的な方策

- 西向天神社のまとまったみどりを保全する
- 神社の雰囲気と調和した落ち着いた形態意匠および色彩とする
- 外構や植栽は寺社の雰囲気と調和させる



西向天神社と調和した住宅地の景観

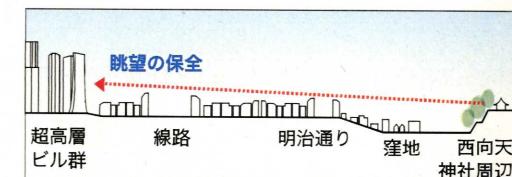
2.斜面上からと斜面下からの眺めに配慮する

景観形成の考え方

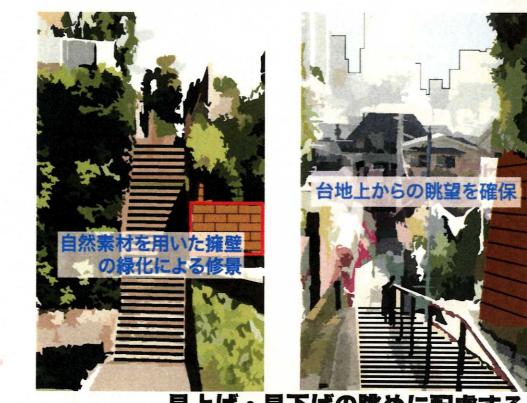
西向天神社などの台地上からの眺めや、医大通り商店街等の坂道からの眺めに配慮した景観形成を図る。

具体的な方策

- 医大通り商店会沿いでは、坂上からの超高層ビル群の眺めを妨げない工夫をする
- 西向天神社などの周辺では、色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度の高いものは避ける



西向きの崖地から望む超高層ビル群の眺望



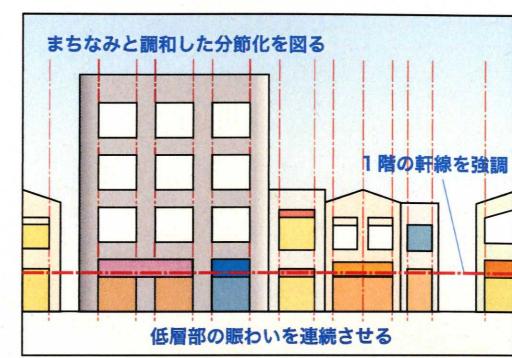
3.商店街の賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

東京医大通り商店会やまねき通り商店会は、周辺居住者の日常生活を支える商店街として、歩く人に快適な賑わい空間をつくる。

具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲と調和を図る
- 間口は現在の規模を継承するか、もしくは、分節化を図る
- 低層部は、賑わいを感じられるような開放的な意匠とする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする
- まねき通り沿道では、低層部の賑わいを感じられるよう、1階の軒線を強調した意匠とする



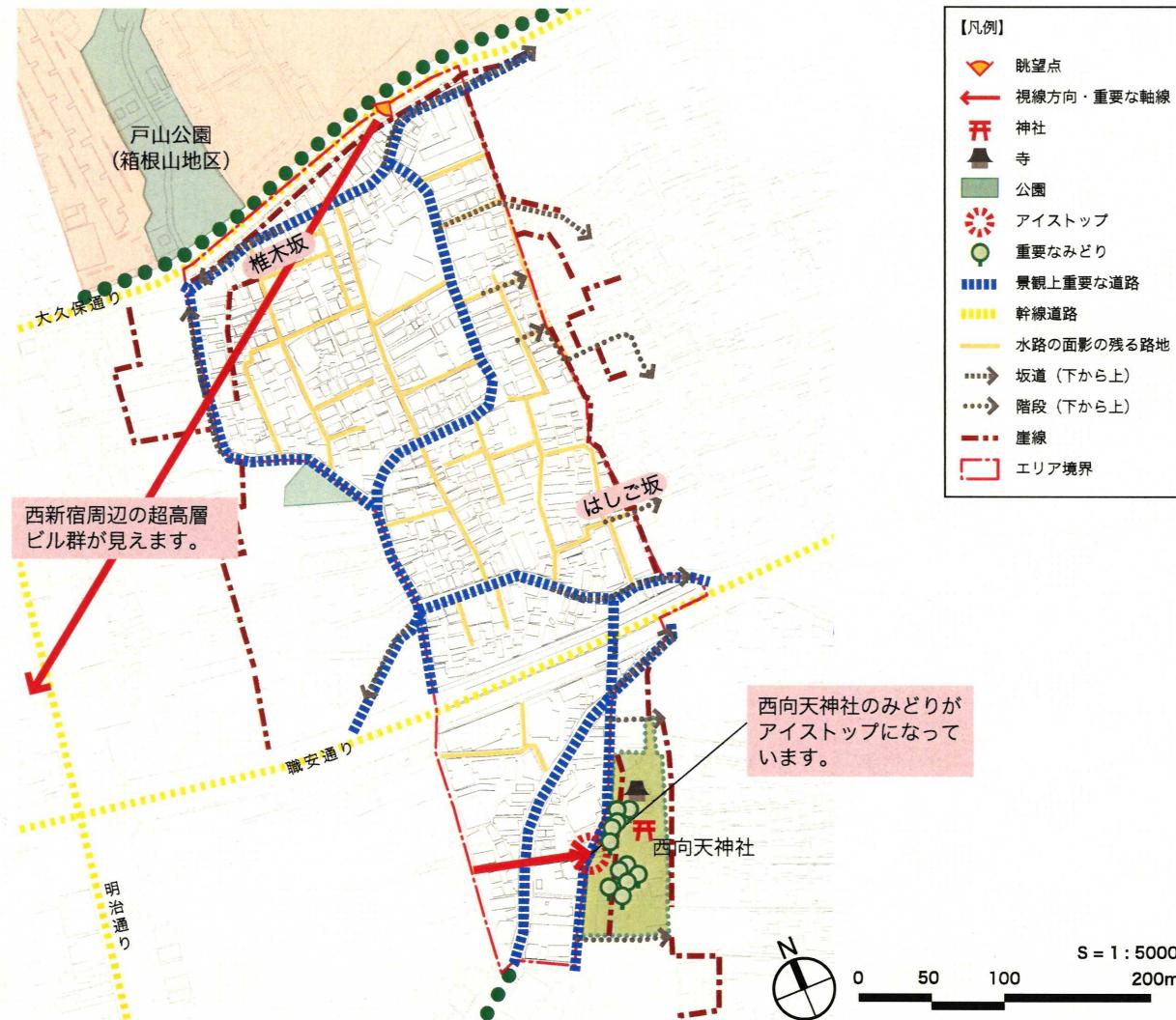
統一感と賑わいのある商店街の景観

5-2 大窪エリア

エリアの大部分は、神田川沿いの低地から伸びてきている窪地となっています。そのため、東西両側に斜面地があり、見上げる眺めが特徴となっています。また、江戸時代の用水路跡を通る道路などが、特徴的な道路基盤となっています。



景観特性



1.窪地の住宅地



エリアの大部分は窪地であるため、周囲の喧騒から切り離され、まとまりある落ち着いた住宅地となっています。しかしながら低地であるため、台地上の高層建築物などの影響を受けやすくなっています。

2.緩やかに曲がる用水路跡



江戸時代は百姓地で水田が多くあり、用水路が通っていました。その一部は今でも道路として残っており、沿道の建築物が折り重なっています。特にエリア北側の大久保通り沿いでは、高低差が大きくなっています。

3.窪地からの見上げる眺め



エリア全体が窪地となっているため、エリアの外周部に対して常に見上げる景観となっています。特にエリア北側の大久保通り沿いでは、高低差が大きくなっています。

景観形成の目標

窪地の地形をいかした落ち着きある住宅地のまちなみへ

窪地形に位置するまとまりあるまちなみの路地や坂道、階段をいかしながら、落ち着いた住宅地の景観をつくる。

景観形成の方針

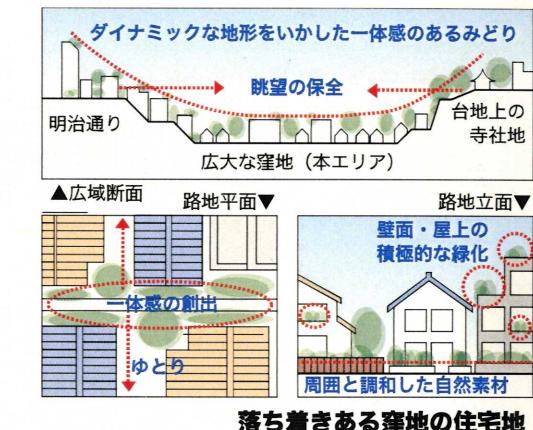
1.窪地に位置する住宅地の落ち着いた景観をつくる

景観形成の考え方

窪地の地形に位置し周囲の喧噪から切り離された住宅地の落ち着いた景観をつくる。

具体的な方策

- エリアに多く存在する路地景観を、身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 色彩や素材は、周囲の落ち着いた雰囲気に調和したものとする
- 垣・さくなどは生垣や自然素材のものとする



2.古くから使われている路地をいかした歩いて楽しい景観をつくる

景観形成の考え方

水路跡の蛇行する道路など特徴のある道路をいかし、歩いて楽しい景観をつくる。

具体的な方策

- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 視線が集中しやすい道路の折れ曲がり部分や突き当たり部分などでは、積極的に緑化を行う



3.坂道や階段をいかした景観をつくる

景観形成の考え方

エリアの外周を取り囲む斜面地にある坂道や階段をいかし、みどりあふれる景観をつくる。

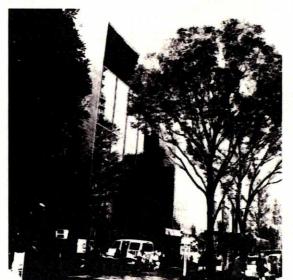
具体的な方策

- 擁壁上部の垣・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図るなど）
- 坂道や階段沿いでは空地をとり、植栽帯を設ける

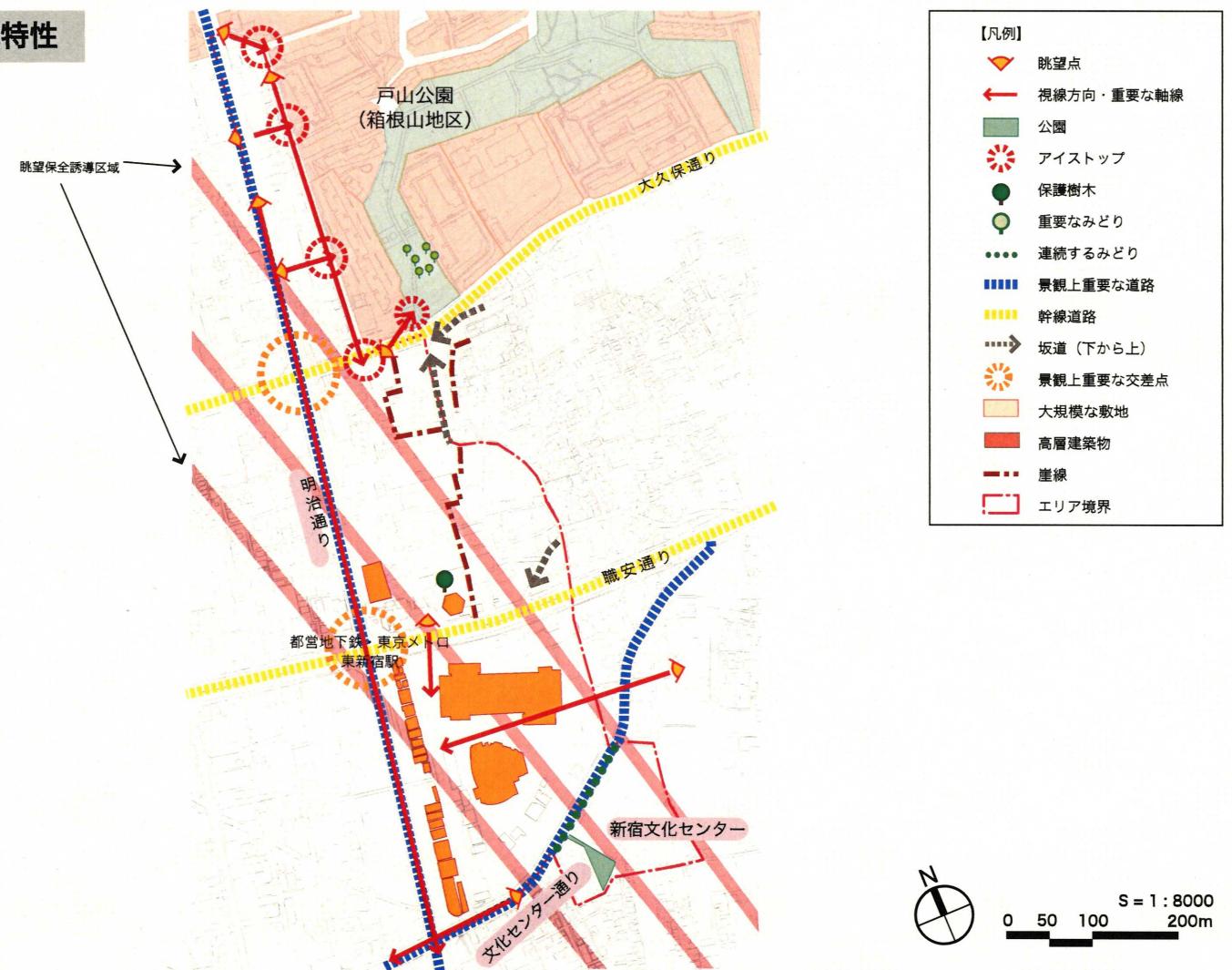


5-3 東新宿・文化センターエリア

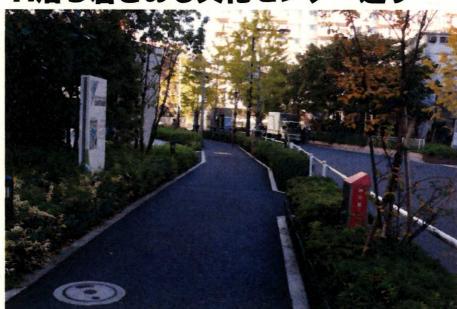
明治通り沿いの、南北に細長いエリアです。地下鉄副都心線の開通や民間等の大規模な開発に伴う、新しい賑わいや都心居住の拠点が創出される予定です。また新宿文化センターは、「新宿区にも、日頃の音楽・舞踊・演劇等の練習の成果を発表する文化施設を建設して欲しい。」という区民の要望のもと、新宿区成立25周年を記念して建設されました。



景観特性

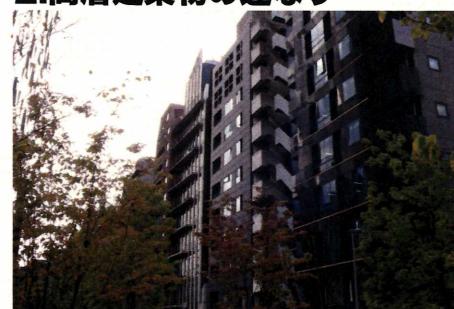


1. 落ち着きある文化センター通り



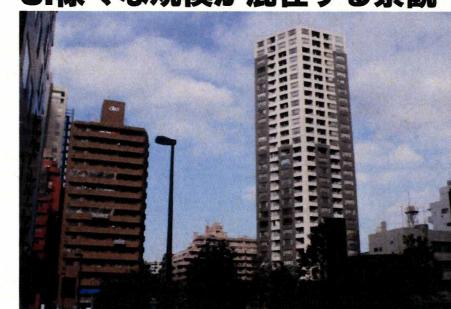
文化センター通りは、江戸時代には用水路として使われ、その後電車が通っていました。現在では、街路樹が整然と並び落ちている。賑わい拠点の創出にあたっては、既存の落ちていた雰囲気の調和が望まれます。

2. 高層建築物の連なり



南北に通る明治通り沿いには、高層建築物が建ち並びほぼ揃ったスカイラインとなってています。しかし、その形態意匠には統一感がなく、幹線道路の沿道にふさわしい統一感のあるまちなみの形成が望されます。

3. 様々な規模が混在する景観



明治通り沿道には高層建築物が建ち並んでいますが、一歩入ると低中層の建築物が並ぶ住宅地もあり、混在した景観となっています。

景観形成の目標

新しい賑わいの拠点と整然とした幹線道路沿道のまちなみへ

景観資源である新宿文化センターや斜面緑地など、新しく創出される賑わいの拠点が調和した景観をつくる。

景観形成の方針

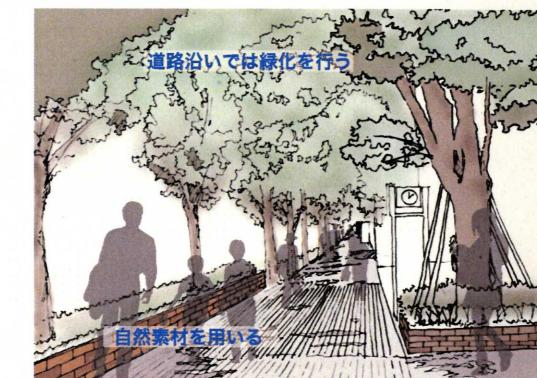
1. 新しい賑わいの拠点を創出する

景観形成の考え方

地下鉄副都心線東新宿駅の開通と新宿六丁目西北地区の開発に伴い、新しい賑わいの拠点が形成された。既存の新宿文化センターや文化センター通りの落ち着いた景観と調和した、賑わいと憩い空間の創出を図る。

具体的な方策

- 低層部はガラスなどの透過性のある素材を使用したり、オープンテラスやショーウィンドウなどを設置する
- 色彩や素材は、周囲の落ち着いた雰囲気に調和したものとする
- 垣・さくなどは生垣や自然素材とする



文化センター周辺の景観

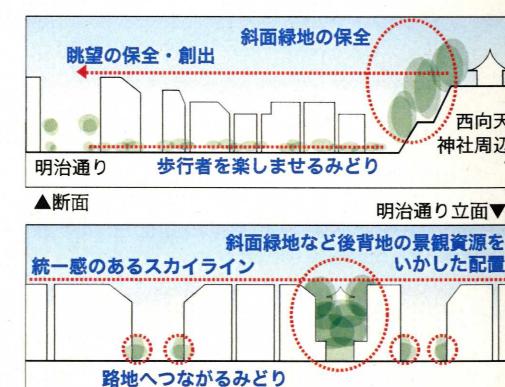
2. 明治通りに賑わいと統一感のある景観をつくる

景観形成の考え方

ビジネスや交通の軸となる明治通り沿道においては、賑わいを創出するとともに統一感のある景観をつくる。

具体的な方策

- 壁面線の連続性に配慮する
- 周囲と調和した壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 交差点の角地に位置する建築物は、まちなみのシンボルとなることを考慮した形態意匠とする
- 色彩や素材は、後背地の落ち着いた雰囲気に調和したものとする
- 住宅地側には空地をとり、積極的に緑化する



後背地への配慮と景観資源の活用

3. 地形をいかした豊かなみどりとゆとりが感じられる景観をつくる

景観形成の考え方

旧邸宅地が集まっていたこのエリアでは、その跡地が現在でも比較的大規模な敷地として利用されている。この大規模敷地のゆとりをいかした景観をつくる。

具体的な方策

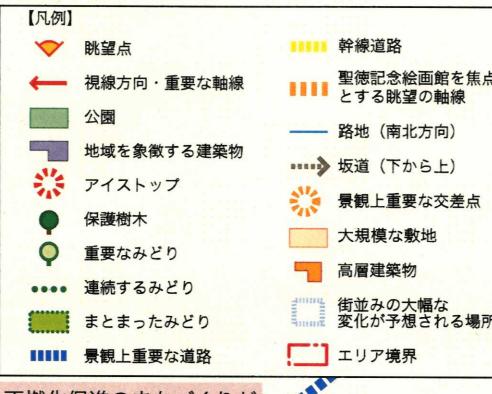
- 既存樹木を保全する
- 壁面の位置は後退させ、道沿いにゆとりをつくる
- 垣・さくなどは生垣とする
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図るなど）
- 斜面地上では積極的に緑化を行う



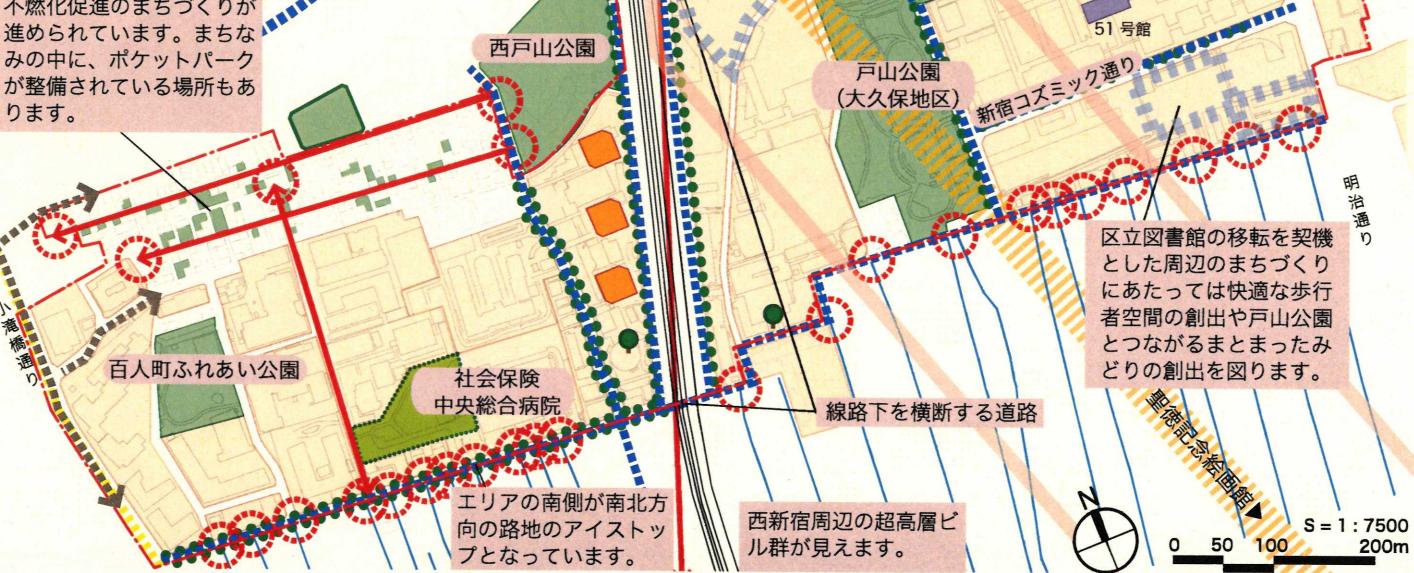
5-4 戸山公園大久保エリア

エリア東側の戸山公園は、明治時代には陸軍戸山ヶ原射撃場でした。現在その周辺には、学校や都営住宅、区営住宅などの大規模施設群によるまちなみが広がっています。また、線路を挟んで西側には、西戸山公園や百人町ふれあい広場などの大規模な公園のほか、敷地規模の整った住宅地が広がっています。

景観特性



不燃化促進のまちづくりが進められています。まちなみの中に、ポケットパークが整備されている場所もあります。



1. 大規模施設群



エリア内には学校や都営住宅、区営住宅などの大規模施設群によるまちなみが広がっています。戸山公園のみどりとつなげ、その周囲を歩く人に対して、快適さや楽しさを提供するような配慮が望まれます。

2. みどりで包まれた歩行者空間

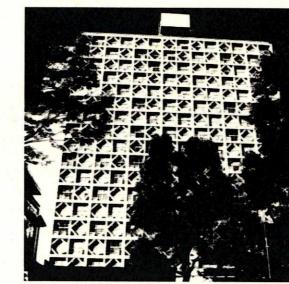


戸山公園は周囲で生活する人にとって、憩いの場となっているだけでなく、歩行者動線としても使われています。みどり豊かな公園内の通路は、気持ちよく歩くことができます。また公園の周辺においても、快適な歩行者空間の創出が必要です。

3. 線路の東西をつなぐみどりの連続



エリアの中央を貫く線路によって、エリアの東西は分断されていますが、線路沿いのフェンスの緑化などにより統一感が生まれています。今後は、東西のつながりを強くするため、動線である線路下などでもみどりを連続させる配慮が必要です。



景観形成の目標

戸山公園と大規模施設群を中心としたみどり豊かなまちなみへ

大規模施設群や戸山公園と周辺のまちなみが一体となって、豊かなみどりが広がるまちなみをつくる。

景観形成の方針

1. まちに溶け込む大規模施設群の景観をつくる

景観形成の考え方

学校・住宅・公園等による大規模施設群のまちなみを、歩く人の視点で潤いある快適なものにしていく。

具体的な方策

- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 道路沿いには十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う



地域に開かれた大規模施設群の景観

2. 散策したくなる魅力的な歩行者空間をつくる

景観形成の考え方

戸山公園周辺の道路沿いにおいては、歩く人に快適な魅力的な景観をつくる。

具体的な方策

- 色彩や素材はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度の高いものは避ける
- 戸山公園周辺の道路沿いでは、歩道と連続した歩行者空間をつくり緑化を行う



みどりと調和した魅力的な歩行者空間

3. 線路の東西がみどりでつながる景観をつくる

景観形成の考え方

エリアを南北に縦断する線路沿いや、線路下を横断する道路を連続するみどりでつなげる。

具体的な方策

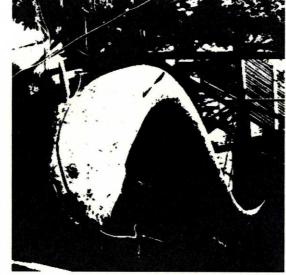
- 線路沿いには空地をとり、並木や生垣等で連続する緑化を行う
- 線路下の道路の出入り口を草花等で緑化し、明るく潤いのある景観をつくる
- 線路下の道路は、暗くならないよう十分な照明を設置する



補助72号線沿いでは積極的に緑化を行う

5-5 大久保通り北エリア

北側では、落ち着いた住宅地の雰囲気となっており、徐々に南側へ行くと大久保通り周辺の多国籍の雰囲気が濃くなっています。また、エリアの東側はもともと西大久保村であり、田畠が広がる百姓地でした。西側は、鉄砲百人組同心の住む大縄地であり、つつじの名所として知られていました。



景観特性



1. 短冊状の道路基盤



江戸時代からほぼ変わらない、短冊状の道路基盤が特徴となっています。そのため、まとまりはあるもののやや单调な景観となっています。エリア全体に低中層の住宅地が広がっており落ち着きある景観となっています。

2. 落ち着きある路地景観



南北方向の幅員の狭い道路沿いは、落ち着きある住宅地となっています。その道路をつなぐ東西方向の短い路地には、アイストップとなる場所が多く存在しています。こうした場所では、緑化などによる景観への配慮が必要です。

3. 多国籍の雰囲気



大久保通り沿いでは、多国籍の雰囲気が漂う小規模な店舗が集まっています。その雰囲気は、大久保通り沿いのみではなく、周辺の住宅地にも広がっています。

景観形成の目標

戸建住宅と低中層建築物が調和したみどり豊かなまちなみへ

江戸時代から受け継がれてきた南北に細長い道路基盤をいかし、路地沿いにつじをいかしたみどり豊かなまちなみをつくる。

景観形成の方針

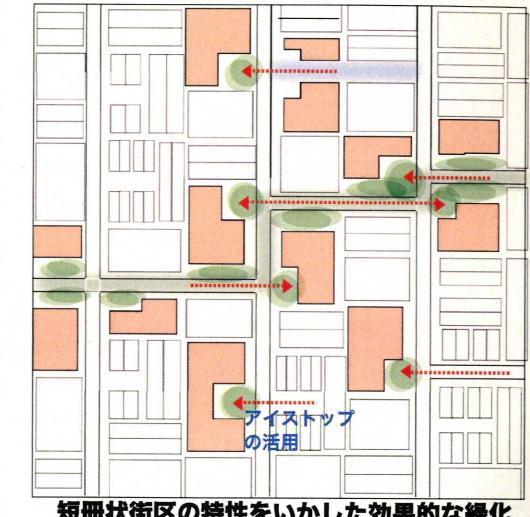
1. 落ち着いた住宅地の景観をつくる

景観形成の考え方

短冊状に規則正しく並ぶ特徴的な道路基盤をいかし、落ち着いた住宅地の景観をつくる。

具体的な方策

- 壁面の位置は後退させ、道沿いにゆとりをつくる
- 垣・さくなどは生垣とする



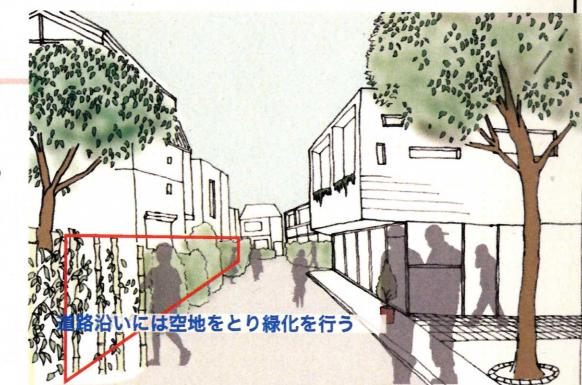
2. 身近なみどりがあふれる路地景観をつくる

景観形成の考え方

つつじ園の広がっていた歴史をいかし、エリアに多く存在する路地景観を身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする。

具体的な方策

- 道路沿いではつつじなどによる連続的な緑化を行う
- アイストップとなる部分では、建築物の意匠的な配慮を行うか、または中高木の植栽を行う



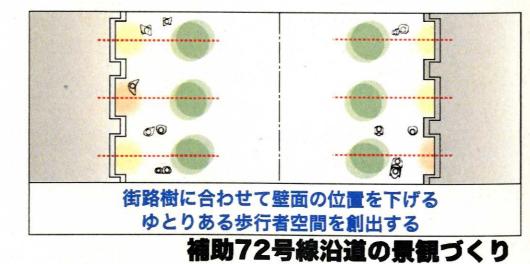
3. エリアを特徴づける幹線道路の景観をつくる

景観形成の考え方

多国籍な雰囲気の漂う大久保通りや補助72号線沿いでは、それぞれの特徴をいかした幹線道路の景観をつくる。

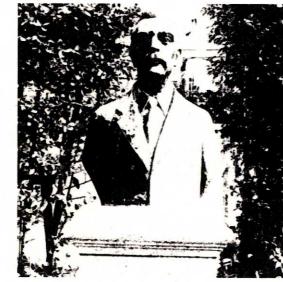
具体的な方策

- 大久保通り沿いでは、低層部の賑わいを感じられるよう開放的な意匠とする
- 補助72号線沿いでは、道路沿いに空地を設け、積極的に緑化を行う



5-6 大久保通り南エリア

周囲を幹線道路とJR線に囲まれ、また、エリアの西部を線路が貫いています。多国籍の雰囲気がエリア全体の特徴となっており、特に、南側へ行くほど繁華街の要素が色濃くなり、賑やかな景観となっています。また、エリア内には小泉八雲記念公園や皆中稻荷神社、全龍禪寺などの寺社もあり、様々な要素が混在する景観となっています。



景観特性

【景観資源】
(区指定文化財等)
歴 史に関わる資源



1.多国籍の雰囲気



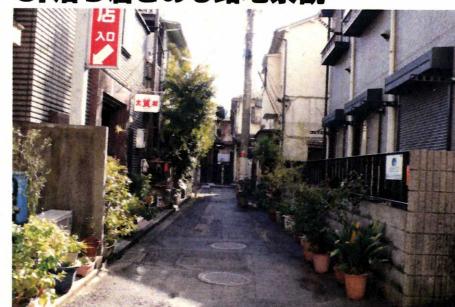
大久保通り沿いには、多国籍の雰囲気が漂う小規模な店舗が集まっています。また、職安通り沿いには、高層建築物の間に大規模な店舗が点在し、その雰囲気は幹線道路沿いのみでなく、その間の住宅地にも広がっています。

2.住宅地と混じり合う賑わいの景観



幹線道路沿いの賑わいは、住宅地の中に入り込んでいます。そこでは、住宅と並んで飲食店やホテル等が建ちならんでいます。

3.落ち着きある路地景観



南北方向の道路は、幅員も狭く落ち着きある住宅地景観となっています。その道路をつなぐ東西方向の短い路地には、アイストップとなる場所が多く存在しています。こうした場所では、緑化などによる景観への配慮が必要です。

景観形成の目標

多国籍な雰囲気と落ち着いた住宅地が共存するまちなみへ

大久保通りから広がる多国籍な雰囲気と、住環境とが調和したまちなみをつくる。

景観形成の方針

1.多国籍な雰囲気をいかした景観をつくる

景観形成の考え方

アジアを中心とする多国籍な店舗が集積した独特の雰囲気をいかした景観をつくる。

具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 低層部は賑わいを感じられるような開放的な意匠とする
- 低層部の外壁や袖看板等の色彩は、周囲と調和したものとする



韓国の多国籍な景観

2.住宅地とその中に混在する賑わい施設が調和した景観をつくる

景観形成の考え方

短冊状に規則正しく並ぶ特徴的な道路基盤をいかし、住宅地の中に小規模の商業施設が混在しながらも、全体として調和した景観をつくる。

具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲の落ち着いた雰囲気に調和したものとする
- 道路沿いは樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる



住商が混在しながらも調和した景観

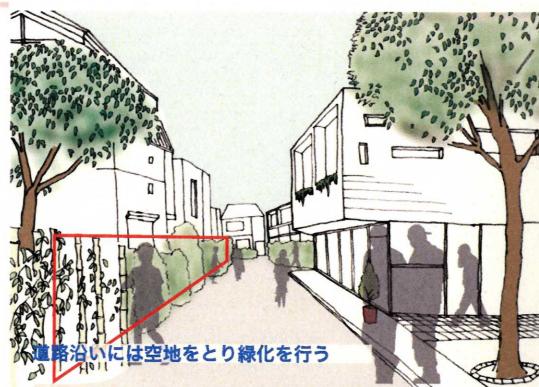
3.身近なみどりがあふれる路地景観をつくる

景観形成の考え方

つつじ園の広がっていた歴史をいかし、エリアに多く存在する路地景観を身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする。

具体的な方策

- 道路沿いでは、つつじなどによる連続的な緑化を行う
- アイストップとなる部分では、建築物の意匠的な配慮や緑化を行う



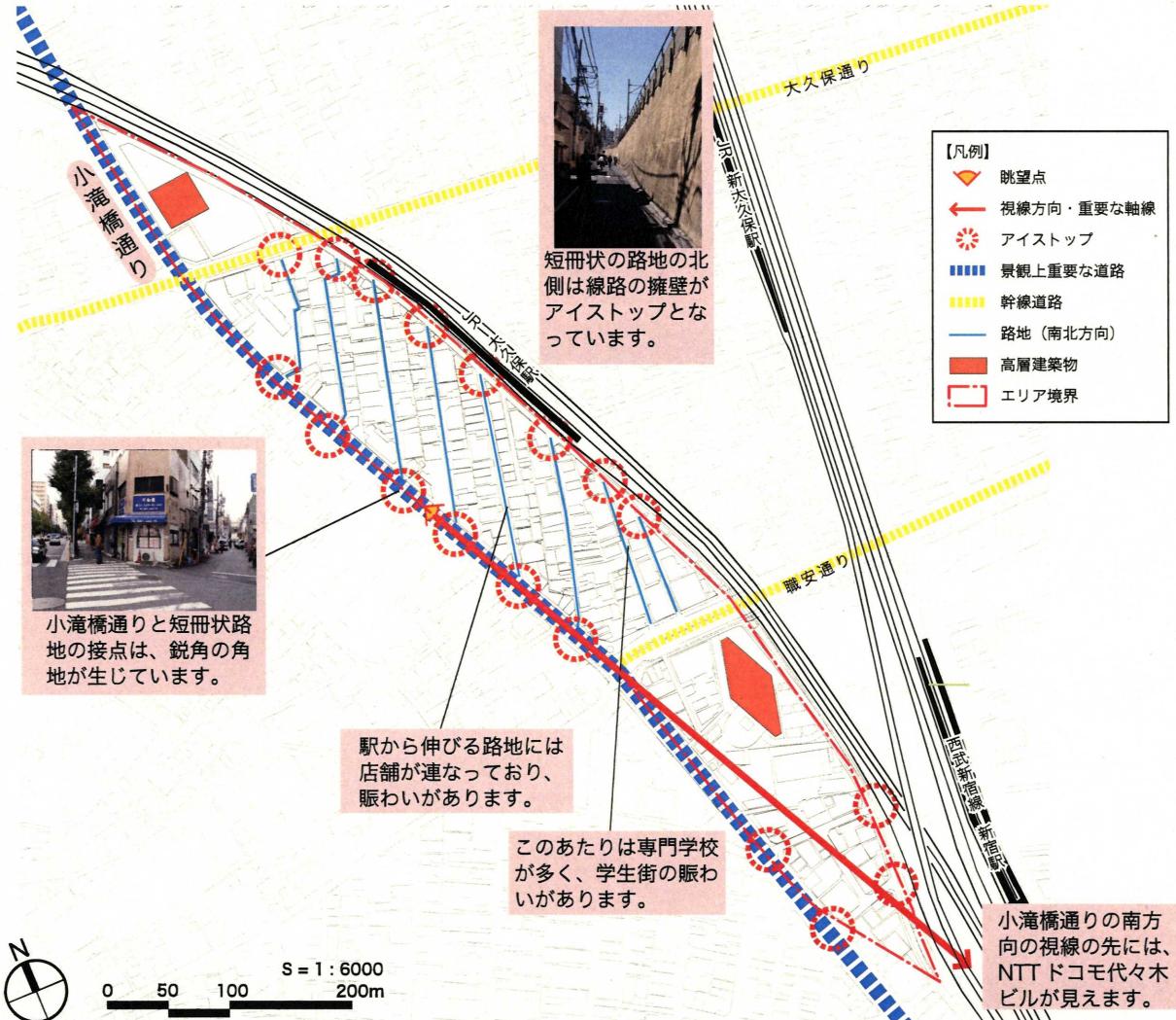
身近なみどりがあふれる景観

5-8 小滝橋通り沿道エリア

JR線と小滝橋通りに挟まれたエリアです。エリアの北側は、江戸時代には鉄砲百人組同心の住む大縄地であり、その特徴的な街路形状は現在も残っています。またエリアの南側には、周辺で働く人の生活を支える飲食店が建ち並び賑わいあふれる景観となっています。



景観特性



1. 大久保駅周辺の景観



新大久保駅から大久保駅へ行くにしたがい、独特的な多国籍の雰囲気は薄れていきます。大久保駅周辺の賑わいを創出していくことが必要です。

2. 小滝橋通り沿いの景観



百人町の短冊状の道路が小滝橋通りで斜めに交差しており、锐角の角地が通り沿いに生じています。通り沿いには高層建築物が建ち並んでいますが、道路基盤に従い適度に分節されたものとなっています。

3. 路地からの眺め



東西に並ぶ短冊状の路地から南側を眺めると、超高層ビル群が望めます。また、北側には線路の擁壁があり、その眺めは殺風景なものとなっています。緑化等による、圧迫感の軽減が必要です。

景観形成の目標

小滝橋通り沿いに広がる賑わいあふれるまちなみへ

JR大久保駅や線路と小滝橋通りをつなぐ細長い路地が並んだ特徴的な道路基盤をいかし、個性的で賑わいあふれる景観をつくる。

景観形成の方針

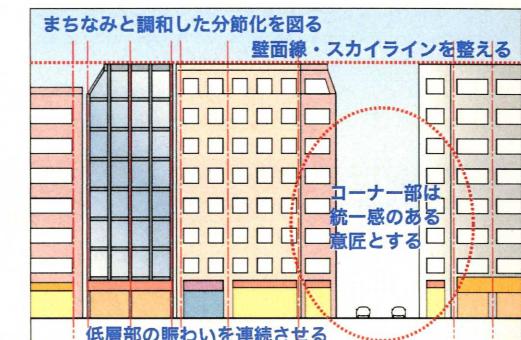
1. 多様な用途が調和した賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

各種学校や店舗、オフィスなど多様な用途が混在しているながらも、全体として調和した賑わいあふれる景観をつくる。また、JR大久保駅周辺では、特に賑わいあふれる景観を創出していく。

具体的な方策

- 壁面の位置を抑え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 周囲と調和した壁面の分節化を図り、長大な壁とならないよう配慮する
- 低層部は賑わいを感じられるような開放的な意匠とする
- 低層部の外壁の色彩や袖看板等の色彩は周囲と調和したものとする



多様な用途の建築物が混在する道での景観づくり

2. 小滝橋通り沿いに賑わいあふれる景観をつくる

景観形成の考え方

小滝橋通り沿いの锐角の角地をいかして、個性的なまちなみをつくる。

具体的な方策

- 锐角の角地はまちなみのシンボルとなることを考慮した形態意匠とする
- 角地に位置する場所では目立つことに配慮し、コーナーの意匠を工夫する



角地をいかした個性的なまちなみをつくる

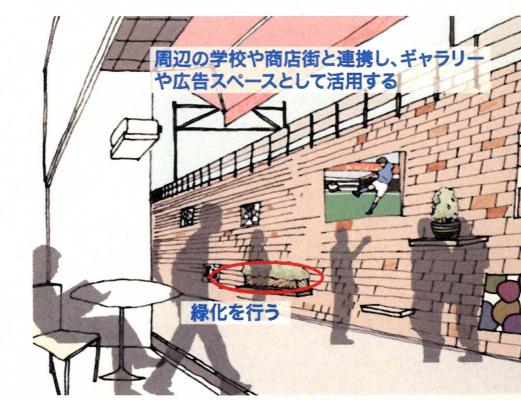
3. 特徴的な細長い路地をいかした景観をつくる

景観形成の考え方

線路と小滝橋通りに挟まれた南北方向に細長い路地の特徴をいかした景観をつくる。

具体的な方策

- 袖看板等は、西新宿の超高層ビル群への眺めを阻害しないよう工夫をする
- アイストップとなる線路沿いの擁壁は、緑化や素材の工夫で圧迫感を軽減する
- 道路沿いを積極的に緑化する



長大な擁壁を修景する